

# 「著作権教育」学習指導計画案

平成 18 年 11 月 17 日 尾崎 文雄

## 1 単元 著作物の大切さに気付こう

### 2 単元の目標

著作物の大切さに気付き，自分や他人の著作物を尊重する態度を養う。

### 3 題材 それって自分のもの

### 4 題材について

コンピューター室で自動車工場見学の新聞を作っている時のことを題材にしている。児童にとって身近な内容である。

新聞づくりを始める前，先生は「ホームページのものを使うときには引用をきちんと書きなさい」と指示をする。しかし，弘紀くんはホームページの情報をコピーして貼り付け，引用を全く書かないまま簡単に完成させてしまう。一方，美恵さんは，イラストを1つだけ貼り付け引用を明示し，残りは自分が取材したメモや感想を書いて苦労しながら新聞を完成させる。完成した新聞を発表した後，弘紀君は友だちにイラストや文章を誉められるがコピーした記事であるため返事ができない。先生のインターネットの向こう側にも作った人がいるという言葉から，弘紀君は自分の過ちに気付く。

新聞を作っているときや新聞を発表した後の弘紀君と美恵さんの気持ちから，著作物の大切さや引用を書くことの必要性に気付くように構成されている。

また，授業内容の理解を助けたり，思考を深めたりするために授業展開に合わせてデジタル教材と，ワークシートも合わせて用意した。

### 5 単元の指導計画（3時間扱い）

著作物の大切さに気付こう 3時間（本時はその3時間目）

### 6 児童の実態について

5年生は，「健二君の学級新聞づくり」「写された作文」を題材にして2時間の著作権教育の授業をしている。児童はこれまでの学習から，著作物を大切にすること，人の著作物を使うときには許可を得ること，人や著作物に感謝の気持ちを持つことの重要性に気付き始めている。

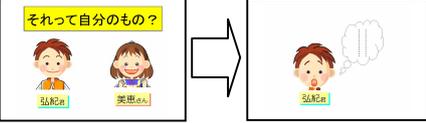
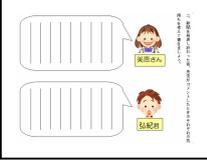
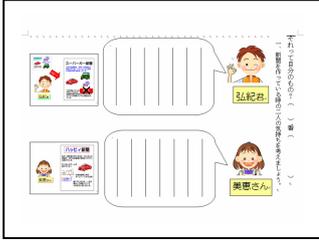
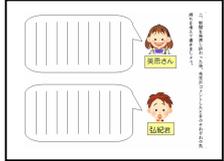
### 7 本時の授業について

導入では，自動車工場に見学に行ったときのことを題材にしてあり，自分たちにも関わりのある話であることを認識させたい。

授業では，パワーポイントで作成したデジタル教材を示しながら，同時に教師が読み物資料を音読して進めていく。その時，台詞が単調にならないように場面の様子に合わせて声の強弱やトーンに気をつけるように留意したい。デジタル教材の中には，弘紀君と美恵さんの新聞がでてくる。弘紀君はインターネット上のホームページをそのままコピーして張り付けていること，美恵さんは引用を書いた上で自分の取材メモや感想をたくさん書き込んでいることを押さえる。

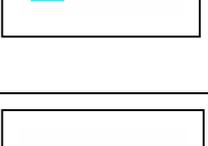
また，弘紀君，美恵さんの気持ちを予想させる場面ではワークシートに書き込ませることによって，児童が自分の考えを持てるようにする。

まとめでは，インターネット上の著作物を使うときの方法として引用を書くこと，著作物を大切にし，相手への感謝の気持ちを持つことを押さえたい。

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美恵さんと弘紀君の気持ちや先生の話から引用を書くことの大切さに気付く。</li> <li>・ 著作物を大切にするとともに、インターネットの向こうの人に対しても感謝の気持ちを持つ。</li> </ul>	
学習活動	主な発問と予想される反応	指導・援助の留意点
<p>1 導入 自動車工場に見学に行った ときのことを思い出す。</p> <p>2 展開 お話を聞く</p>  <p>弘紀君が新聞をコピーして いる時の気持ちを考える。</p>  <p>美恵さんが新聞を作っている 時の気持ちを考える。</p>  <p>完成した新聞を発表し終わ って、先生がお話をしたとき の美恵さんと弘紀君の気持 ちを考える。</p>  <p>3 まとめ 授業のまとめをする。</p> <p>ワークシートに大切だと思 ったことや感想を書く。</p>	<p>自動車工場に行って印象に残ってい ることは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たくさんの機械</li> <li>・ ベルトの上を流れる自動車</li> <li>・ 火花が散っていた</li> <li>・ 機械が児童で動いていた</li> </ul> <p>弘紀君が新聞を作っている時の気持 ちを考えてワークシートに書きな さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡単にできるぞ</li> <li>・ 引用を書くのがめんどろだな</li> </ul> <p>美恵さんが新聞を作っている時の気 持ちを考えてワークシートに書きな さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引用は1つだけにしよう</li> <li>・ できるだけ自分の考えを書こう</li> <li>・ 自分で作るのって大変だわ</li> </ul> <p>新聞を発表した後、先生がお話しを した時の美恵さんと弘紀君の気持 ちを考えなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引用を書いてよかった（美恵）</li> <li>・ イラストを作った人に悪かったな（弘紀）</li> </ul> <p>インターネット上の著作物を使うと きに大切なことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引用を書く</li> <li>・ インターネットの向こうの人のこ とを考える</li> </ul> <p>どうして引用を書きなさいと先生が 言ったのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 著作物を作った人のことを考える</li> <li>・ 作った人に感謝の気持ちを持つ</li> </ul> <p>授業でどんなことを感じましたか。 学習したことを思い出しながら書き ましょう。</p>	<p>・自分にとって身近な話題で あることを知らせる。</p> <p>・弘紀君と美恵さんの新聞づ くりの違いを押さえる。</p> <p>・読み聞かせた後、登場人物 や場面を簡単に振り返る。</p> <p>・利便性だけに意識が働きイ ンターネットの向こうの人の ことを考えていないこと に気付かせる。</p>  <p>・引用が大切な理由をもう一 度押さえる。</p>  <p>・弘紀君と美恵さんの行動や 気持ちの違いから引用を書 くことの大切さを押さえる。</p> <p>・インターネットの向こうの 人や著作物に対しても感謝 することを押さえる。</p> <p>・特に引用の大切さや著作物 への感謝を書いている児童 を指名し発表させる。</p>

それって自分のもの？ 場面細案

	<p>自動車工場の見学に行きましたね。どんなことが印象に残っていますか。          (自動車見学に行ったときの話であると簡単に言う)          それって自分のもの(題名を読む)          登場人物は弘紀君と美恵さんの二人です。(ここから読み物資料に入る)</p> <p>社会科の学習で自動車工場の見学に行きました。ベルトコンベアーの上を自動車が流れ、たくさんの機械が火花を散らしながら部品を取り付けていました。          クリック</p>
	<p>翌日の社会科の時間、コンピューターを使って見学したことを新聞にまとめることになりました。先生が言いました。          「インターネットで参考になる自動車工場のホームページをいくつか選びました。新聞をまとめるときにはその中のものを使ってもいいです。ただし、自分の新聞に絵や写真や文章をそのまま使うときはどのホームページのものを使ったかわかるように書きます。クリック</p>
	<p>それは引用といって大切なことです。」          コンピューター室で新聞づくりが始まりました。見学に行ったときにメモをしたノートを手にしたたり、ホームページを見たりしながらみんな真剣にまとめています。          クリック</p>
	<p>そんな中、美恵さんは先生に質問をしました。          クリック</p>
	<p>「ホームページのものはどのくらい使ってもいいのですか。」          「いい質問だね。自分の文章や班でとった写真のほうが多いほうがいいね。ホームページを貼り付けるばかりだと自分の作品とは呼べなくなるからね。」          先生は答えました。          クリック</p>
	<p>そのやり取りを隣で弘紀君も聞いていました。最初は、自分のノートを見ながらまとめていましたが、どうもうまくいきません。          クリック</p>
	<p>そこで、先生が選んだホームページを見ていきました。自動車を組み立てているきれいな写真やわかりやすい説明が目にとまりました。          クリック</p>
	<p>「これをえば新聞が仕上がるぞ」          クリック</p>

	<p>弘紀君は、ホームページの内容をコピーして自分の新聞に貼り付けていきました。コンピューターを使うと簡単なので、新聞づくりがどんどん進みます。気がつくと、紙面のほとんどはコピーしたイラストや文章で埋められていました。</p> <p>クリック</p>
	<p>引用を書こうと思いましたが、面倒になって何も書きませんでした。</p> <p>クリック</p> <p>( 弘紀君の新聞がホームページのコピーであることを押さえる )</p>
	<p>美恵さんは、ホームページのイラストを一つだけコピーして貼り付けました。先生の言われたように、引用としてホームページの名前も書き込みました。</p> <p>( 引用を書いていることを押さえる )</p> <p>クリック</p>
	<p>でも、頑張って紙面の半分以上は自分の感想や取材したことをもとにして新聞作りをしました。出来上がった作品を見てとても満足しました。なぜ、先生が引用をきちんと書きなさいといったのか、自分が苦労してまとめたことで少しだけわかったような気がしました。( 美恵さんは自分で見たことや感想を書いていることを押さえる )</p> <p>出来上がった新聞を発表する日になりました。自動車見学の発表を一人ずつ前に出てするのです。美恵さんは、もちろん引用したホームページも紹介しました。</p> <p>クリック</p>
	<p>弘紀君の発表になりました。ほとんどすべてがコピーでしたが、そのことには一切触れませんでした。弘紀君の新聞を見て友だちが良かったです。</p> <p>クリック</p>
	<p>「イラストがきれいだね。」「文章も上手だね。」</p> <p>弘紀君は、コピーしている記事を誉められてどう返事をすればいいのかわかりませんでした。</p> <p>クリック</p>
	<p>全員の発表が終わった後で、先生がお話をしました。</p> <p>「みんな上手にまとめていますね。中でも美恵さんは使った資料の名前を正確に書いていました。コピーした工場のイラストは何日もかかって作っているのかもしれませんが、引用を書かずにコピーしたら、その人が作ったものをまるで自分のもののように扱うことになります。」</p> <p>クリック</p>
	<p>ホームページなど、インターネットの向こう側にも必ず作った人がいます。引用は人のイラストや写真、書いた文章を大切にするという意味でも必要なことです。それを作った人が知ったらどう思うでしょう。」</p> <p>クリック</p>
	<p>それを聞いた弘紀君は「ハッ」としました。</p> <p>( 児童の実態に合わせて、登場人物や話の流れを押さえる )</p> <p>クリック</p>

	<p>新聞を作っている時の弘紀君と美恵さんの気持ちを考えてワークシートに書きましょう。</p> <p>( 児童の実態に合わせて、弘紀君と美恵さん 1 人ずつ書かせてもよい)</p> <p>( 発表させて、板書をする。弘紀くんが、「だれにもわからない、作った人なんてわからないからいい」という内容の記述、美恵さんが、「作った人のことを考えていた」という内容の記述があれば意図的に指名する。)</p> <p>クリック</p>
	<p>新聞を発表し終わった後、先生の話聞いた時の二人の気持ちを考えてワークシートに書きましょう。</p> <p>( 児童の実態に合わせて、弘紀君と美恵さん 1 人ずつ書かせてもよい)</p> <p>( 発表させて、板書をする。「インターネットの向こうの人のことを考える」「引用を書かなければいけない」「著作物を大切にすること」といった内容の記述があれば意図的に指名する。)</p>

弘紀君と美恵さんの違いは何か尋ね、引用することの大切さを押さえる。

インターネットの向こうにも人がいて、著作物を使うのにありがとうという気持ちを持つこと引用を書くことが著作物を大切にすることにつながることを押さえる。